

学生チーム 活動報告・お知らせ

春季シーズンについて

学生チームは昨秋一部復帰を果たして迎えた春季シーズンでしたが、秋季シーズンに向けてチームを組み立てていく中で、色々と課題も見えたようです。春季シーズンの戦績と共に、首脳陣および監督からシーズンを振り返って貰いました。

●戦 績 (KCRF 等)

4/21	vs JSKS OB	28- 22	○	JS 祭
4/29	vs 慶應義塾体育会蹴球部	0- 12	●	AKRC
5/ 6	vs 明治 MRC	22- 31	●	KCRF
5/12	vs 東大 LB	78- 0	○	KCRF
5/26	vs 早大 GW	31- 52	●	KCRF
6/ 2	vs 慶應 BYB	12- 21	●	KCRF
6/16	vs 法政 FRB	36- 17	○	KCRF
6/29	vs 同志社 H&T	22- 27	●	東西交流
6/30	vs 早大こんぶれっくす	29- 5	○	セブンス大会

●首脳陣からのコメント

齋藤 賢 (主将)

<シーズンの総括>

課題のはっきり見えたシーズンだと思います。今シーズンは主に 2 つの改革をして取り組みました。1 つは、縦割りのチームで全員を出場させることです。秋を見据えて、控えの選手を育成する目的で行いました。もう 1 つは、ウェイトトレーニングの導入です。ケガの予防、コンタクト強化の為に導入しました。これらの改革により、チーム全体のモチベーションが向上し、ケガ人の数も飛躍的に改善しました。その一方で課題としては、80 分走り切るフィットネスとプレーの継続力、そして何よりそんな課題と「真摯に向き合う姿勢」だと思います。

<夏合宿>

改善すべきポイントは 2 つです。1 つ目はフィットネスレベルの向上、2 つ目はアタック継続力の向上です。具体的には、ランパスやキックダッシュ等のボールを使いながら走る練習、試合に近いコンタクトレベルでの練習に取り組みたいと考えています。

これらの練習は、どちらも苦しく、痛みの伴う練習ですが、我々にとって必ず必要になるものです。それらの顕在化している課題から目を反らさず、厳しくやって行きたいと思います。



慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2013年8月30日発行

＜秋季シーズンの抱負＞

2年ぶりに秋シーズンを1部で迎えることが出来ました。私が1年生の頃に2部に転落したので、自分にとっては2回目の1部でのシーズンとなります。今年のチームは例年と比べても能力が高く、結果を出せる可能性のあるチームだと思います。体育会、強豪クラブがひしめく1部リーグで最高の結果を出し、クラブ日本一を取れるよう頑張ります。

応援の程、宜しくお願いします。

井上 貴史（副将）

個人的には、今回の春シーズンによって多くの収穫を得ることができたと感じています。ウェイトトレーニングにより、見違えるほど体が大きくなった選手も多く、また、KCRFに縦割りチームで臨んだことにより、ほぼ全員に試合の経験を積ませることができました。

しかし、勝利という結果に結びついていないのも事実です。春シーズンの結果を真摯に受け止め、悔しさをバネに、学生クラブ日本一という目標に向け、夏以降、チーム一丸となってより厳しい練習に取り組んでいく所存ですので、今後とも変わらぬご支援、ご指導のほど宜しくお願い致します。

下山 隼之介（主務）

今年の春は練習を減らし、ウェイトトレーニングを行うなど、様々な事に挑戦しました。KCRFにおいても、選手全員を起用するべく、チームを2つに分け、試合に臨みました。結果として、体づくりや選手の試合経験向上には成果が見られた一方で、練習を少なくしたことによる体力不足等も出ていたと思います。夏合宿ではこれらを改善するとともに、チームをより強化し、完成度の高い試合を目指していきます。春シーズン、お忙しい中応援に来てくださったOBの方々、本当に有難うございました。



山崎 勇典（副務）

3月に、関東学生クラブ1部の新チームとしてのシーズンが始まりました。去年は素晴らしい結果を残すことができたが、それ以上の物を勝ち取るために今年はウェイトトレーニングを新たに導入しました。このことによって、タックルを受けてもただでは倒れないようにして、どうにか繋ぐプレーをしようとする意識が各人に見られました。夏合宿では、春の時点であまり力を入れて強化をできなかったフィットネス面、それから個人の力に頼らない、セットプレー等の組織としての力の強化をし、秋のシーズンに臨みます。

米村 亮哉（FW リーダー）

春シーズン、FWはセットプレーの安定と、近場での縦への突破に重点を置き、練習を重ねました。セットプレーでは各試合相手を圧倒しながらも、縦へ切り崩す動きは、強い相手である程苦戦を強いられることが多々見受けられました。

夏シーズンには、走り込みと近場におけるFW全員での連動した動き出しに焦点を当て、秋にはクラブチーム最強FWへと成長すべく、練習に励みたいと思います。OBの皆様には今後ともJSKS学生チームへのご指導、ご支援の程、宜しく御願い申し上げます。

塚田 亮 (BK リーダー)

今年は、昨年までの課題である、個人のフィジカルとチーム全体の能力向上の為に、ウェイトトレーニングの充実や、縦割りチームでの KCRF 出場など、新しい取り組みを実践しています。KCRF での結果に繋がっていない点は残念ではありますが、その成果はチーム一同実感しております。これからの夏シーズン、合宿でそれらを更に高め、秋シーズンに向けチーム一丸となって練習に取り組んで行きたいと思います。これからも、ご指導、ご支援のほどよろしくお願い致します。

●監督からのコメント

好川 弘一さん (1990 年卒)

いつも現役チームのサポートありがとうございます。現役監督好川です。

念願の一部復帰を果たし、いよいよ名実ともに大学クラブ日本一を目指すシーズン。チームは2月下旬にウェイトトレーニングからスタートしました。春は3つの工夫をしました。

ひとつ目は昨年コンタクトフィットネスが課題となったことを踏まえてのウェイトトレーニング。週4回の練習のうちの一回をウェイトトレーニングにあて、全員が筋力アップに励んだことで体が一回り大きくなりました。今までになく努力してくれたと思います。

次にチーム割り。底上げ・チーム内での競争を図るため、縦割りのチームを作成して練習試合等に臨みました。全員がより多くの出場機会を得たことでモチベーションが上がり、よい効果をもたらしました。

最後はボールを動かす練習を多くしたこと。チームコンセプトであるシェイプを実現するべく、全員がボールを持ってどうボールを動かし、どうボールに働きかけ、どう動くのかを考えるよう工夫した練習を行いました。

春の練習試合の戦績は3勝5敗とまだ成果は出てきていません。ブレイクダウン・タックル・ランニングフィットネス・ハンドリングエラー・・・課題は山積していますが、“自分たちはなぜラグビーをするのか？なぜ日本一を目指すのか？”と常に問いかけながら高いモチベーションを保ち、上記課題を克服する練習を予定しています。



徹底した走り込み・ユニット強化・ブレイクダウン向上・・・
いよいよ待ったなし、より密度の濃い練習が始まります。

夏に流した汗と涙が、秋の結果につながるよう現役チーム一丸となって頑張る決意をもっていよいよ夏のシーズンインを迎えます。
OB各位におかれましては、是非グラウンドに足を運んでいただき、ご指導ご鞭撻いただけますようよろしくお願い致します。



新入部員紹介

今年度は、マネージャーを合せて新たに 10 名のメンバーが加わりました！
フレッシュな新入部員達から、意気込みを語ってもらいました。



村上 心汰朗（慶應義塾）

今年度、慶應義塾大学経済学部に入學しました村上心汰朗です。慶應義塾高校ではラグビー部主将を務めており、ラグビー漬けの 3 年間を送っていました。大学では体育会との迷いもありましたが、勉学との両立またラグビー以外のたくさんの経験を積むことを求め、JSKS に入ることを決めました。かれこれ入部して半年弱になりますが、先輩方の少ない時間の中での質の高い練習にも慣れ、充実した日々を送っています。これからも先輩方の目標である日本一に向けて少しでも貢献できるよう努力したいと思います。

田原 基数（慶應志木）

こんにちは。この度 JSKS に入部しました、一年の田原基数です。ラグビーとは慶應志木高で出会い、ポジションは FL をやらせていただいております。大学に入學して何をしようか迷った時期もありましたが、やはり高校のときの仲間達と共に、もう一度ラグビーという形で目標に向かっていきたいと思い、入部を決意しました。早いものですが、もう入部して半年弱になります。先輩方と比べて身体はとても小さく、練習についていくのは大変です。

しかし、秋の大会に向けてのひた向きの向上心が部員の方々から伺え、自分も努力しようという意欲が掻き立てられます。今後の目標としては、しっかりとウェイトトレーニングを行って身体を作り、タックルに自信が持てるようになることです。先輩方の力になれるよう日々精進して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

磯崎 宏太（都立青山）

都立青山高校出身の磯崎宏太です！高校時代はラグビー部に所属しスクラムハーフとしてプレーしていました。僕はまだ JSKS に入って間もないのですが、高校と違いプレーヤーが主体的に練習を考えたりしていることに驚きました。また練習の質も高くみんな体がでかくて感心してしまいました。練習についていけるか不安もありますがまずは体を大きくして早くチームに貢献できるようになりたいです。僕がこの JSKS を知ったきっかけは高校の OB が JSKS 出身で紹介してくださったからです。OB の支援などを忘れずにプレーしたいです。また僕のことを親身になって誘ってくれた先輩にも感謝したいです。4 年間頑張りたいと思っているのでこれからよろしくをお願いします！



高瀬 泰広（慶應志木）

慶應大学理工学部一年高瀬泰広です。慶應志木高校出身で CTB をやっています。高校でラグビーを初めてもう三年になります。決してあっという間ではない 3 年間でしたが、人間的に成長することができたのかは今はまだよくわかりません。もっと成長していく中で自分の歩んで

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2013年8月30日発行

きた道を後悔しないように大学でも精進していくつもりです。

スキルの面ではなかなかパスが上達していませんが、続けているといつか上達するのではないかと信じて練習していきたいです。今後も頑張っていくのでよろしくお願いします。

渋井 一志（慶應志木）

こんにちは。経済学部 1 年の渋井一志です。JSKS に入部して約半年になりますが、毎回本当に楽しくラグビーができているなと思っています。特に先輩方には学校にいる時も、ラグビーをしている時もいろいろとお世話になっています。自分は体がとても小さいので、これから試合でもっとラグビーを楽しむため、試合や練習で怪我をしないためにも、基礎的なトレーニングをしっかりとしていきたいと思います。

渡邊 充（慶應志木）

慶應志木高校出身で経済学部 1 年の渡邊充です。これからの JSKS での 4 年間は、ラグビーを楽しんでプレーしたいと思っています。そのためにはただ適当に練習に参加するのではなく、常に全力を出すことが必要だと考えています。ただでさえ授業で練習の回数が皆よりも少ない自分は、その分 1 回 1 回の練習を大切にしていきたいと思っています。これから 4 年間仲良く楽しくラグビーができればと思っています。応援よろしくお願いします。

木村 隼人（慶應志木）

はじめまして。1 年の木村隼人です。出身高校は慶應志木高校です。ポジションはロックをやらせていただいています。JSKS に入ってから、4 ヶ月ほどが経とうとしていますが、良き友達のおかげで、クラブ活動はとても楽しく、充実したものとなっています。また、今では普段の学校生活にも慣れ、学業とラグビーの両立が出来ており、学生生活もとても有意義に送らせていただいています。今後は、先輩方をサポートすると共に、一人の選手としても成長していきたいと思っています。



杉山 美優（県立静岡）

慶應義塾大学商学部 1 年、杉山美優と申します。出身校は静岡高校で、高校時代はマネージャー兼トレーナーとして活動していました。大学に入学し JSKS に出会い、ここで私の大学生活を全うしたいと思い入部を決意しました。

早いもので入部してから半年弱が経ちます。真剣かつ楽しんでラグビーをするプレーヤーの姿を見て、日を重ねるごとにラグビーが好きになっていくのが自分でもわかります。大好きなラグビーに携わり、また大切な仲間たちを支えることができることに喜びを感じる毎日です。これから秋の試合に向けて練習を積んでいくことになりますが、最高のプレーができるように精一杯支えていきたいと思っています。これから 4 年間よろしくお願い致します。

河合 優香（慶應 NY）

こんにちは、河合優香と申します。入学式から早 4 ヶ月が経ち、暑い日々が続くプレーヤーの皆さんが飲む水の量も増えてきました。今年、JSKS に入り、テーピングや試合中の役割な

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2013年8月30日発行

どマネージャーの仕事を先輩方から学び、やっと練習や試合などで自分の仕事ができるようになってきて JSKS に入った当時より、自分のすべきことが分かってきました。しかし、まだまだ未熟なので今よりもっとプレーヤーの方のお役に立てるよう日々勉強し、支えられるよう頑張ります。

松葉 咲希（大妻嵐山 聖心女子大学）

今年度 JSKS マネージャーとして活動させていただいています松葉咲希です。JS に入ってから早くも4ヶ月近く経ちました。入る前、入ってから少しの間は不安ばかりで上手くやっていけるか心配でした。しかしマネージャーの先輩方が優しく丁寧に教えてくださったり、メディカルやテーピングの講習会について教えてくださったりしたおかげで、今では試合などでやっとマネージャーとして自分の仕事ができるようになったと感じています。今後はもっと多くのテーピングやマネージャーとしての仕事を覚えプレーヤーをサポートしていきたいです。

就職内定状況

4年生の就職内定状況についてご報告致します。

本人達の努力はもちろん、サポートチームやOB諸先輩方のご尽力により、今年も皆さん満足のいく結果が得られたのではないのでしょうか。

（以下は、6月27日時点の状況です。）



- ・ 秋山 翔子 : グラクソ・スミスクライン（マネージャー・大学院生）
- ・ 井上 貴史 : 東京海上日動火災保険
- ・ 太田 雄大 : 日本中央競馬会（JRA）
- ・ 齋藤 賢 : 三菱東京 UFJ 銀行
- ・ 椎名 修平 : 第一三共
- ・ 下山 隼之助 : 電源開発（J-POWER）
- ・ 塚田 亮 : 富士通
- ・ 塚田 慶一郎 : 富士通
- ・ 所 礼峰 : 丸紅
- ・ 益田 悠暉 : 住友商事
- ・ 諸井 和貴 : セブンイレブン・ジャパン
- ・ 吉村 捷平 : 三菱東京 UFJ 銀行
- ・ 山崎 堯 : 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券
- ・ 米村 亮哉 : 富士通



OB チーム 活動報告・お知らせ

神奈川県社会人クラブリーグ 2 部に所属する OB チームは、今年の春季大会で念願の 1 部リーグへの昇格を果たしました！春期シーズンの戦績と共に、1 部で迎える秋季大会に向けて、主将からコメントをいただきました。

●戦 績（神奈川県社会人クラブ選手権）

4/ 7	vs 玉川ジャンキーズ	24- 17	○	二部リーグ
5/26	vs ふ ROOTS	17- 7	○	二部リーグ
6/13	vs 川崎キッズヒーローズ	57- 5	○	二部リーグ
6/30	vs 藤沢ウェスト	33- 10	○	二部リーグ
7/21	vs ブラックホース	不戦勝	○	一部入替戦

●首脳陣からのコメント

白岩 剛平（主将：2010 年卒）

今年から OB チームの主将を務めさせて頂く白岩です。宜しくお願い致します。

さて、数年前チームの若返りを図って以来、1 部昇格を目標の一つにして活動してきましたが、常にあと一步のところまで 1 部との入替戦の壁を越えられずにおりました。

今季大会も様々な困難がありましたが、昨季に引き続き 2 部で優勝、入替戦の壁も乗り越え、秋季大会より 1 部でプレーできることになりました。

これまでプレーヤー以外にも、本当に大勢の OB の方に応援のみならず、試合のスタッフとしてもご協力頂いてここまで来ることができました。ありがとうございました。

秋季からは、一つ上のステージでの試合となります。厳しい戦いも予想されますが、引き続き OB チームにご協力をお願い致します。



慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2013年8月30日発行

二島建夫 理事長挨拶

まだまだ暑い日が続いていますが、皆さん体調など崩されることなく、お元気でご活躍されていらっしゃいますでしょうか。日頃より、JSKS の活動にご意見・ご尽力いただきまして、誠にありがとうございます。

ご案内の通り学生チームは、昨年、関東学生クラブ 1 部リーグに返り咲き、さらなる高みに臨むこととなります。しかし、今春の KCRF においては、2 勝 3 負で 6 チーム中 4 位と振るわず、いくつかの課題解決が課せられています。8 月 21 日から 10 泊 11 日で行なわれる夏合宿（於 リゾートハイランド美やざき）において、好川弘一監督の指導のもと、齋藤賢キャプテンのリーダーシップで、必ずや秋季シーズンまでに仕上げてくれると信じています。

OB チームについては、大きな進展がありました。神奈川県クラブ選手権 2 部の春季大会において 4 戦全勝、1 部との入れ替え戦を不戦勝で勝ち抜け、見事 1 部に躍進しました。これは、主将・白岩剛平のリーダーシップのもと、顧問・多田雅彦、主務・小西悠史の献身的なサポート、そして若手 OB 会員の積極的な参画があって成し遂げた成果です。今後は、1 部でのさらなる躍進と、学生チームを触発する存在としての一層の健闘を期待しています。

一方、多くの会員の皆さんにご協力いただき、現在も展開しております新入部員のリクルート活動ですが、お蔭様をもちまして、今年の春は、プレーヤー、マネージャー合わせて 10 人の一年生が入部しました。申し上げるまでも無く、新入部員獲得は喫緊の課題であり、JSKS の存亡を左右すると言っても過言ではありません。また、長い期間に渡って活動し続ける根気強さが求められます。会員の皆さんにおかれましては、どうかそれぞれのお立場から、引き続き、ご協力下さいますよう、心からお願い申し上げます。

次に、既に学年幹事等を通じてお知らせさせていただいております通り、9 月 7 日（土）15 時から慶応三田校舎において、「学年幹事会総会兼 OB 連絡会」および弁護士として活躍されている JSKS OB の村松謙一さん（77 年卒）による講演会（テーマ「私の使命 命を守る弁護士」）を予定しています。村松さんは多くの著書を記されているとともに、NHK の「プロフェッショナル 仕事の流儀」にも登場された方です。我々の仲間の奮闘振りをおうかがいすることは、大いに刺激になると思います。多くの会員の方々にご参加いただけることを期待しています。

当方が理事長を拝命して、早くも 4 年目を迎えています。これから半年間、今年後半のシーズンを 4 年間総括の期間と位置づけ、今までにも増して邁進して行きたいと思います。毎回のお願いではありますが、まずは会員の皆さんのご協力なくしては、JSKS の発展は成し得ることが出来ません。何卒、ご指導・ご鞭撻、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

以上



二島建夫理事長

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 J.S.K.S.クラブ会報」

2013年8月30日発行

JS 総会・ラグビー祭開催しました

4月21日（土）、みなとみらいスポーツパークにて、恒例のJS総会及びラグビー祭が開催され、今年も大いに盛り上がりました。



<総会出欠集計>

会員数	出欠到着	出席数	委任状数
637	169	42 (ハガキ)	51
		39 (当日)	

ラグビー祭には、今年も多数の寄贈品を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。
(敬称略)

神谷 晴美 (1957 年卒) ビール券 1 セット (JS オープンへ)

中島 悟 (1961 年卒) 焼酎 1 本

池松 宏昌 (1962 年卒) 焼酎 1 本

ゴルフボール 1 セット

大島 洋一 (1965 年卒) ポロシャツ 多数

村上 良昭 (1968 年卒) お菓子 多数

関谷 忠彦 (1970 年卒) 焼酎 1 本

新田 豊 (1975 年卒) お酒 1 本

寺村 勝治 (1992 年卒) お茶 (ペットボトル) 多数

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2013年8月30日発行

また、当日欠席された方から寄せられたコメントをご紹介します。（敬称略）

氏名	卒年	コメント
山田 健三	1946	91 才をすぎ聊か疲れてきたけれど相変わらず呼吸はなんとか？！JSKS の盛んな姿を夢見ている、頑張れ！！
三橋 強	1951	高齢化に付き家で閑居を続けています。祈ご盛会。
瀬尾 昭一	1951	元気で居ります。
秋野 壽三夫	1953	JSKS 益々ご隆盛喜ばしいことです。年齢的に参加は無理ですが遠くで皆さんの活躍を祈っています。同期の岩瀬君、川嶋君等によりよく伝えて下さい。
岩瀬 弘	1953	段々外出が億劫になり自戒してます。畏友木村氣君を亡くし寂しき限りです。ご盛会を祈ります。
谷川 和穂	1953	あと2ヶ月以内に現職の全国保護司連盟理事長職が終わり、その後は山梨県の韮崎に転職する予定。
佐土原 康平	1957	元気です。
田中 隆	1958	関東圏に戻り1年経過しやっと落ち着いてまいりました。
山下 善臣	1958	老々介護中のために欠席いたします。
上田 鉄也	1960	元気に現役をつづけています。
久保田 昌弘	1962	強い JS を取り戻して下さい。
関根 民雄	1962	やっと五体満足です。
磯村 浩司	1962	年金生活 10 年、まあ何とかやってます。
金子 勝美	1962	関西支部でいろいろと楽しい会合をもっております。酒が飲めるのも元氣な証拠と酒をたしなんでいます。
山本 裕浩	1963	昨年3月、脾臓頭部のガン摘出手術をしました。現在治療中ですが、元気にやっています。
近藤 正	1964	関西ではファミリーパーティー、ゴルフ会などの集まりで OB の懇親を深めています。
松本 利幸	1965	元気でやっています。4月から顧問になりました。やっとゆっくり出来ますので皆さん声をかけて下さい。
川久保 達也	1966	長年苦しんでいた腰痛も治り今年はテニス。ゴルフと存分にしたいと思います。総会、懇親会の盛会をお祈りします。
渡邊 忠貴	1966	不惑クラブの現役プレーヤーは昨年4月に引退し、地元逗子葉山ラグビースクールのコーチをしています。当日はスクールと重なるので欠席しますが、会の盛況を祈ります。
田中 俊夫	1966	ご盛会を祈念申し上げます。関西も辰巳理事のおかげで、情報が良く伝わってきました。
鈴木 堯	1967	パーキンソン病を発症して早や10年、薬もだんだん効かなくなり、不自由な日々を送っております。
市川 徹	1968	名古屋地区からの新入部員に腐心しております。
阿知波 民雄	1970	ボランティアで演っている「出前落語」で毎日忙しくしております。

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」
2013年8月30日発行

氏名	卒年	コメント
大塚 陽三	1970	大変申しわけございませんが、かすみが浦マラソンのため欠席させていただきます。
伊藤 克彦	1974	震災から復興に向けて奔走中。仙台空港ビル勤務です。
杉田 雅人	1974	所用有り、残念ですが今回は欠席します。盛会を祈念しています。
大味 立夫	1976	いまだに SINGAPORE に出稼ぎです。しばらく続きそうです。みなさんラグビー生活を楽しんでください。
長野 和郎	1975	銀行からメーカーに転じて 3 年が経ちました。当日は海外出張にて出席できません。現役諸君の奮闘を期待します。
田代 深志	1976	総会の成功を祈念いたします。
笠井 貞男	1977	現在も百五銀行の本体に残り勤務しております。2 月に JS 名古屋 OB 会に参加しました。
嶋田 廣雅	1977	酒とゴルフの日々です。
西野 顕久	1978	元気にやってます。4/21 には同志社大学ラグビー部を招待し第 37 回長崎招待ラグビーを実施します。JS 頑張れ！
多田 清	1979	昨年 5 月から名古屋勤務をしております。
後藤 仁克	1979	残念ながら出席できません。ご盛会をお祈りいたします。
川合 規之	1980	単身にて 2 度目の米国勤務中です。
土井 雅史	1981	ご無沙汰しています。ご盛会をお祈りします。
黒永 泰弘	1984	北京で 3 年目に入りました。
田島 敬文	1988	沖縄に来て 12 年になります。JS 会報は、いつも楽しく拝見しています。
岩本 能明	1989	現在はロンドンに勤務しております。
大久保 信樹	1989	現在海外赴任中です。
松澤 輝俊	1996	最近は親子でプレーを楽しんでおります。
竹野 翔一	2012	長崎でラグビーをはじめました。
井嶋 ハル香	2012	昨年度無事卒業致しました。鹿児島に引っ越しますが、これからも OG として応援させて頂ければと思います。



慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKSクラブ会報」

2013年8月30日発行



《お知らせ》

会報デジタル化について

広報担当理事 高橋 正典（1986 年卒）

現在、年 3 回発行しております「JSKS ニュース」ですが、より綺麗に、かつお手軽にご覧いただけますよう、現在の印刷物の郵送からデジタル・ファイルでのお届けに変更させていただきます。

今後、まずはメールにより学年幹事経由で全会員に告知し、個々にホームページ上のファイルを閲覧いただくこととなります。将来的には、会員のアドレス情報を整備し、メールマガジン機能を活用することによって、個々にお知らせすることも計画しています。

移行時期は、次回（2014 年 1 月頃）の紙媒体による発行を最後とし、それ以降（2014 年 3 月頃～）は新しい体制とします。

なお、1959 年卒以前の会員の方々には、従来通り、印刷しました会報を郵送にてお届けする予定です。

また、従来、会報に掲載していましたトピックスは、随時、ホームページでご紹介させていただき、会報はそれらトピックスの集約版といった位置づけとします。つきましては、ホームページに随時更新されますトピックスにも、今まで以上にご注目いただきますよう、よろしくお願い致します。

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2013年8月30日発行

支部だより

今回は中部支部・関西支部での活動状況をご報告いたします。

中部支部より

久しぶりに中部支部での懇親会が開催されたとのことで、当日の様子について小澤さんからご寄稿いただきましたので、ご紹介します。

中部支部：小澤 教昭さん（1978 年卒）

中部支部での会員活動などをご紹介します。

中部支部は正式にエリアが決まっていますが、概ね東海 4 県（愛知、岐阜、三重、静岡）の在住者を想定しています。

従来から地元会員の皆様は定期的に会合を設けて懇親を深めておりましたが、中堅・若手の東海地区勤務となった会員の把握が不十分で、また地元学生会員との交流もできていない課題がありました。

昨年、会員名簿が更新発行されたため、地元会員と転勤による名古屋在住者の洗い出しをしたところ、総勢、23 名と連絡がつけました。

よって、久しぶりに 2 月に中部支部懇親会を開催して盛り上がりました。理事会からは辰己理事も参加され、昨年度の現役 JSKS の成績ならびに活動内容全般について報告され、当支部との意見交換等を図りました。

ここからは、酒が入り、本音トークまじりで会話が弾みましたので一端をご紹介します。

地元学生を JSKS に入部させよう。筑波大学 彦坂兄弟の活躍を見よ!! JSKS 近藤ブラザーズ

最近の新入部員獲得の課題については、地元旭丘高校が BYB ばかりに入部しており、昨年のレギュラー 4 名を占めている事実には愕然、悔しい。同校 OB の市川さん(68 年卒)に勧誘活動をお願いしていましたが、毎年、現役部員がどうしても先輩を頼る経緯とコネクションには歯がたちません。

その代わり、当支部の重鎮である近藤先輩(56 年卒)は明和高校ラグビー部 OB 会長でもあり、ようやく現役森君が JSKS に入部しております。旭丘、明和は文武両道、ラグビーも今だ盛んであり、今後に期待か。三河地区では名門岡崎高校出身の現役太田君よ、後輩を引っ張って来い！（ちなみに私の母校、瑞陵高校ラグビー部は学力とも存続の危機状態の有様…）

春合宿を名古屋でやってくれ!! 現役にご馳走したい、地元旦那 OB 衆

昔、春合宿が名古屋（岐阜）で行われ、地元 OB との交流もできていたことなどが懐かしく語られました。いつ頃まで続いていたのでしょうか。（私、昭和 53 年は体験しています）指導したる。（岐阜大の各務原グラウンド、宿舎は「濃州館」→80 周年記念号に写真あり。）

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2013年8月30日発行

名古屋に転勤してきたら教えてちょ!! 若手・中堅サラリーマンへ

将来はリニアで東京から1時間以内となる中部地区です。今後はますますOB会員がビジネス等で当地区への出張あるいは転勤となる方が増えることとなるでしょう。その折には遠慮なくご連絡ください。 歓待します。

とりあえず、中部支部はこんな雰囲気です！



関西支部より

関西支部からは2つイベントについて、それぞれの様子を辰巳忠一郎さんからご寄稿いただきましたのでご紹介します。

関西支部：辰巳 忠一郎さん（1968 年卒）

「第5回ラグビートップリーグ・オールスターチャリティーマッチ・イン和歌山」観戦記

3月3日に開催された、第5回トップリーグオールスターチャリティーマッチは、和歌山県ラグビー協会（理事長・土井雅史さん：1981年卒）がラグビー人口拡大を目指し招致したイベントです。（会場：和歌山・紀三井寺公園陸上競技場）

素晴らしいコンディションの天然芝グラウンドでは、トップリーグの選手間投票で選出された50名が、28歳を境にシニアチームとヤングチームに分かれて戦いました。

一流選手による普段のゲームでは見られないようなド派手なプレーも飛び出し、笑いの絶えない楽しいラグビー観戦となりました。試合はシニアチームが粘りを発揮し、67対62で若さのヤングチームに逆転勝ちしました。

プレマッチで今年の花園の決勝と同カード、御所実業高 vs 常翔学園高の新人戦という興味深い対戦が行われ、熱戦の末12対5で御所実業高が花園の雪辱を果たしました。競技場外でも子供たちのタグラグビーや、トップリーガーによるトークショーなども行われ、ラグビー一色の日でした。

和歌山で初めて行われたトップリーグのゲームでしたが、過去の大会を上回る5,290名の入場者でスタンドが埋まる盛り上がりを見せ、土井理事長はじめ関係者の皆様のご苦労が実を結んだ、大成功の大会となったのではないのでしょうか。

最後に今大会の主催者として日本ラグビー普及のため先頭に立っておられる土井雅史さんの活躍に観戦者一同で敬意を表し、エールを送らせていただきます。

観戦者：金子勝美、三浦雄三、
辰巳忠一郎、浅野泰平、徳岡樹
（敬称略）



写真：左より辰巳、金子、土井、三浦、浅野の五氏

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」
2013年8月30日発行

BYB 関西 OB 会主催 「ラグビーの集い」 参加報告

5月25日（土）に好天の下、BYB 関西 OB 会主催「ラグビーの集い」が塩野香料(株)工場グラウンドで行われました。数年以上続く恒例の行事ですが、今年も JSKS と GWRC の OB が招待を受けました。BYB 関西 OB 会長の塩野秀作氏が塩野香料の社長であり、このイベントの音頭をとっておられますので、BYB 若手 OB と同社ラグビー好き若手の男女社員が段取りから本番までを取り仕切ってくれます。

今年は JS から金子勝美、辰巳忠一郎、鵜勝彦、浅野泰平、松岡肇、柿本雅紀、同男児 2 名の計 8 名が参加しました。勿論、GW の OB も数名参加しました。

入念に準備体操の後、4 チームに分かれ、約 1 時間タグラグビーを行いました。

金子、辰巳は見学組、その他の選手は夢中になって走り回り、往年の姿を垣間見ることが出来ました。60 半ばの赤パン鵜さんは相変わらずスタンドオフのポジションでボールに絡む場面が目立ち、浅野さんは前日購入の軽量シューズのお蔭か？ライン参加からスピードに乗ったトライを取り、松岡さんは巨体から突進を繰り返して敵を圧倒し、柿本さんは華麗なステップワークからお子さんにパスを回し、親子連係プレーでトライを重ねました。因みに 10 才の息子さんはさすが宝塚ラグビースクールに通う少年ラガーで、瞬間のランスピードの高さとハンドリングの良さが目につきました。数年後は大学生になるので慶應 JSKS 入部の予約をとりましょう。柿本お父さん進路指導頼みます。

30 度超の真夏日の中、全員無事にプレーを終え、次はグラウンド木陰でのバーベキューに舌鼓を打ちながら、学生時代のラグビーの思い出話や各クラブの現状を楽しく語り合いました。

交歓会での話ですが、昨年末の BYB は現役が学生クラブ日本一決定戦に出場したため、東西から多くの OB が花園に駆けつけてくれ、関西が大いに盛り上がった様です。JSKS も一日も早くそのような機会が訪れるように期待しております。

また塩野秀作氏（旧姓、増本氏）は JSKS 初代理事長の横河正三氏と同郷（兵庫県明石市二見町東二見の出身）ということで JSKS に格別に親しみを感じているそうです。尚、お兄さんの 74 年・増本有信氏は BYB の OB 会長をされています。



マネージャー列伝

マネージャーを紹介するこのコーナー、今回は現在2年生の現役マネージャー、加藤満生子さんから寄稿いただきました！ チームの力となるべく常に向上心を持って取組んでいる姿、胸を打たれますね。



現役マネージャー：加藤 満生子さん（2年生）

慶應 JSKS のマネージャーをやらせていただいております、2年の加藤満生子です。私が JSKS に携わるようになってから早1年が経ちました。

この1年間は本当にさまざまなことありました。楽しいことも悔しかったことも悩んだことも…。でもやっぱり楽しいことが断然多かったです。JSKS は週4日で練習がありますが、毎回練習に行くことが私にとっての毎週の楽しみの一つとなっています。

大学では勉学に励むことのみで、他に何かをしているわけでもないの、私にとって JSKS はとても大きな存在でした。今でもその気持ちは変わりません。だからこそ、マネージャーをやるからには常に完璧を目指したいし、どうすればチームの力になれるかと日々考えています。

一年生の前半では初めてテーピングやメディカルのことを講習会などで学んだことにより、知識が増えていき、同時に「早く実践したい！」と思うようになってからは、テーピングなどを自分が担当した後はプレーヤーに感想や反省点を聞くようにして、今後の自分の成長に繋がるようにしています。またこのようなコミュニケーションを取るようになってからは、プレーヤーとたくさん話すようになったし、仲良くなったように思います。それからは、JSKS には私の居場所があるのだなと実感できるようになりました。

同期はもちろん後輩や先輩のみなさんには、練習ではもちろん練習外でも本当によくしていただいています。学年関係なくみんなと関わっているのがとても幸せです。これから引退まで約2年半、昨年1部に昇格したので、今年は1部でも勝ち進んでいけるようなチームになっていけるよう、マネージャー全員で協力して頑張っていきます。



若手だより

JSKS を卒業後、社会人として各地で活躍する若手 OB をご紹介するこのコーナーでは、今回は長崎で勤務されている竹野翔一さんより寄稿いただきました。現役部員へ向けた熱いメッセージ、素晴らしいですね！

竹野 翔一さん（2012 年卒）

JSKS の皆様こんにちは。2012 年卒の竹野と申します。

今回、社会人 2 年目ということで「近況報告・JS の生活を振り返って」というテーマで寄稿させていただきました。また、僭越ではございますが結びに現役諸君へ向けてのメッセージもございますので、駄文ではございますが、最後までお付き合いいただけましたら幸甚です。

< 近況 >

現在私は、農林中央金庫という会社の長崎支店に勤めております。

弊金庫は皆様にとってあまり馴染みのない会社かも知れませんが、まず初めに農林中央金庫という組織を簡単に紹介させていただきます。

農林中央金庫は、1923 年、JSKS が創立された 6 年前に誕生した系統組織（農協・漁協・森組など）の信用部門における中央機関です。組織の目的は、これら第一次産業の系統組織よりお預かりした資金を国内外の市場で運用し系統組織へ還元することで、日本の農業の発展に資することです。

JSKS の OB では 1989 年卒の平塚さんがいらっしゃいます。

以上が全体の大雑把な説明ですが、次に私の業務について紹介します。

長崎支店で私は現在、農協の推進業務を担当しております。推進業務とは、簡単に申し上げますと長崎県下 7 農協の貯金高を伸ばすために様々なことを行う業務です。具体的には、各農協の目標貯金高の制定・それに向けた実行計画の提案、定期貯金など金融商品の企画・普及、年金・給与の振替促進などです。

そうして日本の各地域で系統の貯金高が増えれば、金庫の運用資源が豊かになり、系統組織への還元も安定して行える、という構図です。

また、推進業務では実際に金庫の職員が対顧客で動くわけではなく、JA の方々に「動いて頂く」ことが特徴です。最前線で貯金者と接するのは JA 職員の方であり、金庫職員ではありません。従って、JA さんに私たちの企画したことをやっていただくためには、JA—金庫間の信頼関係が非常に重要になります。



慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2013年8月30日発行

そういった信頼関係を築く上で、JSKS での主務経験はとても素晴らしい効果を発揮しています。振り返りますと、JSKS の主務は私に幅広い年代の方とたくさん接する機会を与えてくれると共に、人とのコミュニケーションに怖じない姿勢を身につけさせてくれました。

<JSKS を振り返る>

2012 年 4 月より社会人となり、すでに 2 年目に突入し、会社の後輩も出来ました。

しかし、私は引退してから 1 年半以上経つ今でも毎日 JSKS を思い出し、JSKS とは何だったのかを考えています。可愛がって下さった先輩や可愛がった後輩、一緒に馬鹿なことしかしてこなかった同期。また、上述しましたが現役時代に私は主務を務めておりまして、若手からご年輩の OB の皆様にはとてもお世話になりました。

学生時代を振り返ると、そのような方々との出会いやグラウンド内外での思い出は、私の人生をととても深く且つ豊かなものにしてくれたのだと痛感します。

JSKS での記憶は、「仲間」や「親友」、「楽しい」や「最高」という言葉では絶対に表現しきれない、力強く、温かく、心を満たしてくれる感情を私に与えてくれます。

そして、この感情は、恐らく現役諸君にはまだ分かりづらいかと思います。しかし一方で、OB の皆様からは共感を得られるものではないでしょうか。

主務という役職柄、現役時代は事務局の方々とよく「さんま」などでお酒を飲む機会がありました。今となって思い返してみますと、そこで私は OB の皆様からこの感情について説かれていた気がします。言葉は違えども、概念的なその感情は、表現しなくとも JSKS の OB 諸兄の心を包んでいるのだなと思いました。当時はその意味があまり分かりませんでした、今になって「そういうことだったのか」と強く感じます。



<結びに>

最後に、現役諸君に言葉を贈り、長い駄文を締めさせていただきます。

現役諸君、君たちは素晴らしい環境にいます。それは、社会人になって年月が経てば経つほどかけがえのないものだ気がつくでしょう。JS での経験は社会人にとって必要な基礎体力であるし、JS での記憶は今後人生で参った時に自分を救ってくれるものとなります。

ありふれた言葉かもしれませんが、これが真なのだと私は思います。

黄金時代とはよく使われる言葉ではありますが、黄金時代は振り返って感じるものです。私は、JS での現役時代を振り返り、それが黄金時代であったと自信を持って言えます。また、社会人になり、この黄金時代と呼べる時間を持てたことは、本当に幸せなことであり、生きる上での活力となるでしょう。だからこそ、君たちには、より上質な黄金時代を送ってほしいのです。無限に感じられる暇な時間、飲み会やら麻雀やらに使う世界一無駄な時間を、世界一楽しんでほしいし、後悔しないほど遊び倒してほしい。ラグビーを一所懸命し、オフを一所懸命楽しんでほしい。それができる一番の、素晴らしい場所が JS であると私は信じて止みません。

私は、JSKS の OB として、君たちが JS で人生の黄金時代を築くことを強く望みます。

繰り返しとなりますが、それはいつまでも君たちを救い続けます。OB 一同は君たちの頑張りを、必ず強く応援してまいります。ですので、このかけがえのない最高の環境で存分に頑張ってください。

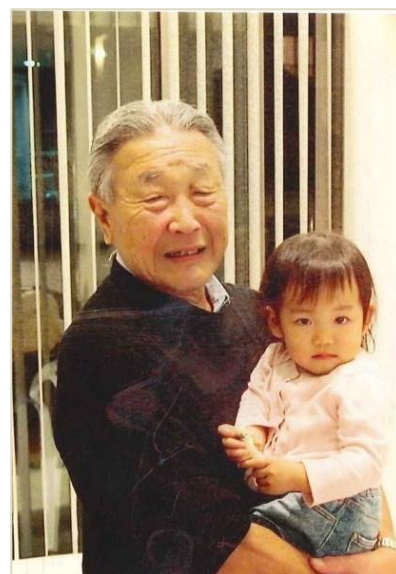
超 OB だより

こちらのコーナーでは、75 歳以上で今なお元気に活躍されている超 OB の方を紹介しています。今回は成願宏さんから、「JSKS と私」というテーマで寄稿いただきました。お元気さの秘訣は、今でも毎月同期と集まって飲んでいらっしゃるという楽しみが大きな要素のようです！

成願 宏さん（1957 年卒）

私は昭和 28 年（1953 年）慶應義塾大学工学部に入学した。この年は日本のテレビ放送が始まった年であり、政治は第 5 次吉田茂内閣であった。

入学するとすぐに高校（成城学園）のラグビー部の先輩で、慶応の体育会にいた 4 人の先輩が入学祝を日吉でやってくれた。早速体育会に入ることを薦められたが、工学部は当時中央線の武蔵小金井にあったので、日吉で一年教養課程終了後小金井に通う事になっていた。だから体育会では勤まらないことを伝え、先輩から JSKS というクラブチームがあるから、そこでラグビーを続けたらどうだと薦められた。そうして何日か後に臼井先輩が多摩川の JSKS の練習に連れて行ってくれた。これが私と JSKS の出会いである。



当時は山口さんがキャプテンで、同期は下村、神谷、三田村、後藤、渡辺、日野、矢野、佐土原、私を含めて計 9 名、ほかにも何人かいたが、結局最後まで残ったのはこの面々である。1 年生のときは日吉校舎であったから少し余裕があったが、2 年になってからは武蔵小金井校舎から多摩川の練習場に週 3 日通うのはかなり忙しかった。工学部の小金井校舎から多摩川に行くには乗換えと徒歩を含めて 2 時間近く掛かり、午後の最終授業をサボらなければ間に合わなかった。工学部では午後の最終授業は実験が多かったので、これを友人に頼んでよくサボったように思う。



それでも元々中学高校で始めたラグビーが好きだったこともあり、また JSKS の仲間がだんだん楽しくなってきた事もあり、シーズン中の練習はほとんど休んだことがなかった。私たちが 3 年生で安藤さんが 4 年でキャプテンのとき、JSKS は GW に勝ってクラブチームリーグで全てに圧勝して優勝した。私達が 4 年生のときは下村がキャプテンで、私はバックスリーダーにさせられたが、「2 年連続優勝」が合言葉になり、特に同期の 9 人にとって最大の目標となった。

そしていろいろな問題もあったが秋に GW 戦に逆転勝ちして優勝を果たしたときの達成感は最高のものであった。一緒にラグビーをやった仲間、中でも同期の仲間と分け合った達成感の記憶は深い友情となって、現在まで続いている。この友情はその後の人生の節目で互いに助け合い、その他の友人関係とは違った一種独特のものであるように感じている。

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2013年8月30日発行

私の同期は JSKS に入ってから今年丁度 60 年目である。その内 JSKS でラグビーをやったのはわずか 4 年で練習は週 3 日、そのほか春夏の合宿だけである。それでもこんなに深い友情が出来て続くのはなぜだろうか。昔、横河理事長がよく言われた「JSKS は良い友人を作る所だ」と言う真意が今頃わかってきたような気がする。

現在も月 1 回 JSKS 仲間と集まって飲む会を楽しみに日々を過ごしている。



4 月 26 日に集まった JSKS1957 年卒の現存メンバーの写真。

左から、下村・三田村・佐土原・成願・後藤・日野・神谷の 7 人です。

1987 年卒の麻生さんが経営する新橋駅前の飲み屋（さんま）にて。

ここに居る 7 名は全員 80 歳前後ですが、まだまだ元気です。



第 14 回 JS オープンゴルフ戦記

今年も 6 月に、恒例の JS オープンゴルフ大会が開催されました。例年通り、大いに盛り上がった当日の様子について、大島洋一さんからご報告いただきました。



大島 洋一さん（1965 年卒）

第 14 回 JS オープンゴルフ大会は 6 月 8 日（土）千葉県真名カントリーのゲーリープレーヤーコースにて行われました。

快晴の中 藤森（51 年）、神谷（57 年）の大先輩を始め 29 名の会員、御家族の参加で熱戦が繰り広げられました。

前半から名手、元田（69 年）がハーフ **36!!** と猛スピードで飛ばし、同組でプレーした前回優勝の栗原（65 年）は「元田、やりすぎだよ、やってられないよ」と早々に脱落です。同組の新井（74 年）は「JS オープンは参加することが大事。元田さんの前半は見事!! で、ギャラリー気分で見とれていました」とのこと。一方もう一人の本命嶋田（77 年）は前組でプレーする嶋田夫人の豪快なショットを見て血圧が上がり、珍しくミス多発で自滅。残された“大本命”元田夫人は「今日は俺に任せろ」の一言で内助の功に徹し 69 年団体勝利に重点を絞ったようです。

独走の元田、手を抜く癖が出ましたが、それでもダントツ優勝か？

ところがゴール目前、どこにいたのかライン際から大きくスワープ、忍者のスリ足のように半パンで「元田、パスしろ」と囁く男、想定外の山木（69 年）がいました。さすがの元田も「ギョッ!？」。あわてて再加速しダイビングトライ。見事優勝です。おめでとうございます。

神谷先輩から「たまにはパスしてやれよ」。これに対し元田曰く「下手にパスしてノックオンでもされたら元も子も無い」と学生時代の辛口がでました。

それにしても山木の準優勝は立派です。これが団体戦常勝の 65 年組を大差で破る原動力となりました。尚、個人 3 位にはドラコン、ニアピンをしぶとく取った高橋（70 年）が入りました。全ホールニアピンの気持ちでプレーしたら恐ろしい存在になりますね??

成績	個人戦	1 位	元田、69 年	グロス	78	ネット	70.8
		2 位	山木、69 年				
		3 位	高橋 70 年				

団体戦	1 位	69 年（杉崎、元田、元田夫人、山木）
	2 位	65 年（大島、栗原、松本、矢野）



今回、昨年大手術をした新田（75 年）が元気に参加、嬉しいですね。さすが元学生監督、教え方はなかなか理論的？

自分のプレーになると戦略、戦術に凝り過ぎ技術とのミスマッチで超豪快な場外ホームラン連発、でも当たると凄い。後半はパーティーでの酒がちらつき、プレーへの集中力が落ち豪打から乱打へと歯止めがきかなくなりましたが。。。

慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2013年8月30日発行

大会最大の目的はゴルフを通じ仲間の親睦をはかることですが、今回もプレー後のパーティーは大盛況でした。

競技後のパーティーは毎度の名司会栗原の進行でスタート。酒が入ると皆、話を聞かないと云うことで、冒頭に二島理事長より JSKS の近況報告があり、「皆さん、より強い JS の仲間の輪を広げよう！」と力強い宣言、そして最年長の藤森大先輩（83 歳）よりの訓話、「皆さん、自分で年をとったと思ってはだめ、世間も御年だからと云い過ぎる。普段からの行動を継続していればよいのだ。いつまでも若さを保とう。JS オープンも継続して参加しよう」。

そして遂に乾杯の発声。「かんぱい」「さー、パーティーだ！」。待ちに待った新田の声が一段と大きくなり会場の雰囲気は最高潮。いつもの栗原の流れるようなアドリブで会場は爆笑、沢山の賞品寄贈を頂き、参加者全員に賞品がいきなり皆さん大満足でした。

金沢の 68 年村上さん（村上製菓）からいつものように大人気の美味しいお菓子をいただき持ち帰った皆さんとてもラッキーでした。楽しい 2 時間が瞬時に過ぎ会も無事終了。

帰りの東京駅までの専用バスでは バス専任幹事伊東（68 年）と助手新田がバス利用者に賞品のワイン、酒ビール券の提供を依頼（強要か？）、帰宅バスが居酒屋バスに変身し、最後まで皆さん長い一日を Enjoy されたようです。

その後も事故もなく皆さん無事に帰宅されたとのことでした。

前回、今回も参加の最若手が 77 年とはちょっとさびしいです。JS 会員の皆さん、御家族も含めどんどん JS オープンゴルフに参加され、JS 親睦の輪を広げましょう。

次回幹事は 69 年です。皆さんのご支援よろしくお願いします。



慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」

2013年8月30日発行

村松弁護士 特別講演会のご案内

既に学年幹事を通じてご案内しておりますが、9月7日（土）に学年幹事会総会兼 OB 連絡会を開催します。今回は、趣向を変えて、JSKS 正会員の皆様にも多く参加いただき、JSKS の絆を感じていただく企画を立てました。

JSKS は創部以来、社会に優秀な人材を送り出してきましたが、それらの OB のみなさまのご協力をいただき、自分の仕事、信念、考えを語って貰おうと考えました。

OB の皆様には、他業種で活躍する OB の考えを聞いていただき見聞を広めていただくとともに、懇親を深めていただきたいと思います。また、学生の皆さんには自らの進路、人生を考えてもらうチャンスにして欲しいと考えています。

記

日時・場所：9月7日（土）15：00～19：00

1. 式次第

- | | | | |
|-----|------------------------------|---------------|--------------|
| 第1部 | 学年幹事会総会兼 OB 連絡会 | (15：00～15：25) | 慶應三田 南校舎 445 |
| 第2部 | 村松弁護士 特別講演 | (15：30～16：50) | 〃 |
| 懇親会 | 学年幹事総会兼シニアチーム、現役一部昇格のお祝いと激励会 | (17：00～19：00) | 三田 ザ・カフェテリア |

2. 特別講演会テーマ：「私の使命 命を守る弁護士 村松謙一」

(注) 弁護士の村松謙一さんは 77 年卒の JSKS OB で、2007 年には NHK の「プロフェッショナル仕事の流儀」で紹介されるなど企業再生の草分けの弁護士です。

表題のとおり、倒産しかかった企業の命を守り、そこで働く従業員、家族の命を守るため、自らの信念のもとに懸命に仕事に打ち込んでいる弁護士です。

3. 村松謙一さん紹介：

1954 年、静岡県清水市（現静岡市）生まれ。

県立清水東高校から慶應義塾大学法学部に入学。

JSKS に入部し、フランカー、また 4 年生ではプロップとして、現在の仕事振りを彷彿させる、真直ぐ突き進むファイターとして活躍。

77 年大学卒業後、司法試験の勉強を始め、3 年目、25 歳で弁護士になる。

倒産寸前に追い込まれた会社に駆けつけ再生を助ける再生専門の弁護士として、再建した会社は 100 を超える。その活躍ぶりは 2007 年 NHK プロフェッショナル 仕事の流儀「どんだの会社よ、よみがえれ！」で紹介された。

4. 懇親会 会費

OB：5,000 円 OG：3,000 円 学生：1,000 円

5. お申込み

学年幹事会総会、OB 連絡会、特別講演会、懇親会へ参加される方は、学年幹事を通じて事務局の水嶋さんへお申込みください。



慶應 JSKS ニュース

「慶應義塾大学 JSKS クラブ会報」
2013年8月30日発行

<編集後記>

JSKS で 4 年間マネージャーを務めておりました、1993 年卒の宮島 まり（旧姓：森）です。今回より、JS 会報の発行を担当させていただくことになりました。

大学を卒業してだいぶ経ってから、OB チームが東京都のリーグに正式加盟したこともあり、何年間か試合の際のメディカルなどでお手伝いをさせていただいていましたが、ここ 2～3 年は自身のランニング関係の大会等と重なり中々応援にも伺うことができないでいて、いつも心苦しく思っていました。なので、今回このような形ででも JSKS と関わりを持ち続けることができることに感謝しております。

会報を纏めるにあたって皆さんからの投稿文を読ませていただいて、色々な世代の方々がそれぞれの場で活躍されながらも、根底に流れている“JS 愛”を深く感じる事ができて、改めて JSKS は本当に素晴らしいクラブチームなんだなーと実感しました。

そして、この皆さんの想いを形（文章）として残せる JS 会報は、とても大切なものなんですね。

来年 3 月以降は会報をデジタル化してご提供する予定ですが、今後も皆さんが更に楽しんで目を通していただけるような会報になるよう、女性ならではの視点も少しずつ入れながら鋭意工夫していきますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します。

